

# 授業評価アンケート 調査結果報告

6月に実施した第6回「授業改善のためのアンケート」調査結果の概要を報告します。データ分析は、調査を実施した(株)日経リサーチによるものです。なお結果の詳細については、11月30日まで教務課、図書館、学生会本部で閲覧できますので、ご覧ください。

また、6・7月にこの「授業評価アンケート」の実施についてのアンケートを、学生、教員対象に行いました。その結果を10ページに掲載していますので、併せてご覧ください。

## 調査概要 (前期)

【調査実施時期】2002年6月14日～27日  
 【調査対象】獨協大学の全学生  
 【調査方法】授業出席者に対して配布、授業時間内に担当教員が回収  
 【調査内容】授業評価、授業満足度、講義・外国語等の評価

【調査回収サンプル数】 合計 9371サンプル※

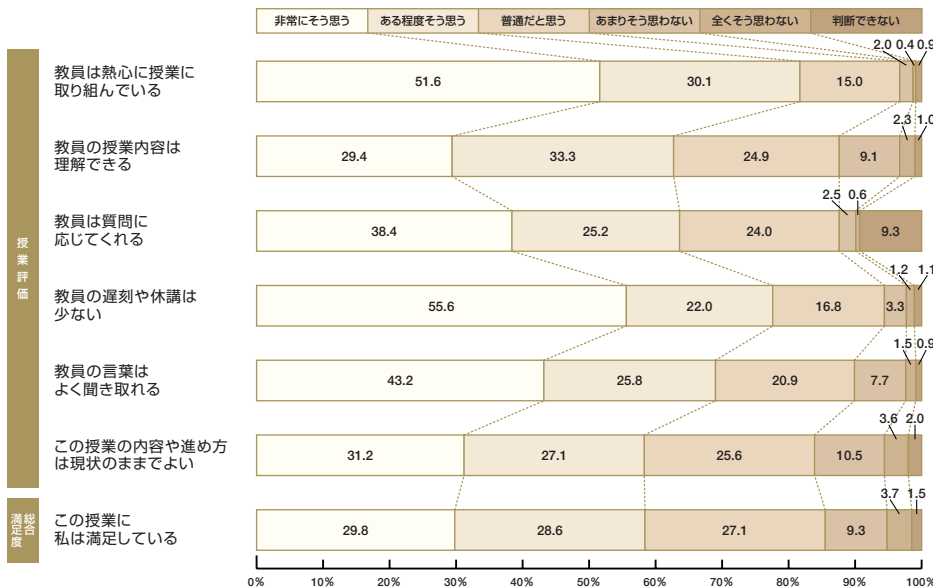
学部別	サンプル数	学年別	サンプル数
外国語学部	6627	1年	3754
ドイツ語学科	680	2年	2745
英語学科	2990	3年	2011
フランス語学科	485	4年	483
言語文化学科	2472		
経済学部	1434		
経済学科	588		
経営学科	846		
法学部	916		
法律学科	731		
国際関係法学科	185		

※学科、学年が未記入のものを含む。

【教員所属学科別回収率】

教員所属学科	受講者数	回答者数	回収率
外国語学部 合計	10088	7351	72.9%
ドイツ語学科	166	111	66.9%
英語学科	4099	2955	72.1%
フランス語学科	67	59	88.1%
言語文化学科	2843	2085	73.3%
共通科目	2755	2032	73.8%
外国語客員教員	158	109	69.0%
経済学部 合計	2122	1512	71.3%
経済学科	384	289	75.3%
経営学科	1738	1223	70.4%
法学部 合計	1058	508	48.0%
法律学科	53	33	62.3%
国際関係法学科	1005	475	47.3%

## 共通項目全体について



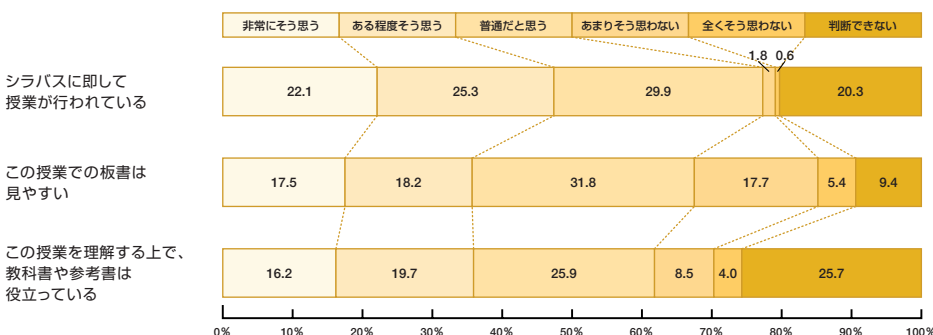
授業について特に評価が高い項目は「教員は、熱心に授業に取り組んでいる」で、肯定派(「非常にそう思う」+「ある程度そう思う」)は8割以上(81.7%)。また「非常にそう思う」も5割(51.6%)を超えている。次いで「教員の遅刻や休講は少ない」が、肯定派が8割弱(77.6%)、「非常にそう思う」の割合も55.6%と高い。授業に対する教員の熱意ある態度が評価される結果となった。

しかし、「この授業の内容や進め方は現状のままでよい」では否定派(「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」)が14.1%。「教員の授業内容は理解できる」では11.4%と、授業の質への不満が若干見られた。

総合満足度が満足層(「非常にそう思う」+「ある程度そう思う」)58.5%で過半数が評価しているものの、不満層が13.0%あり、授業内容へのマイナス評価の影響がうかがえる。

## 講義科目について

※講義科目サンプル数…6805



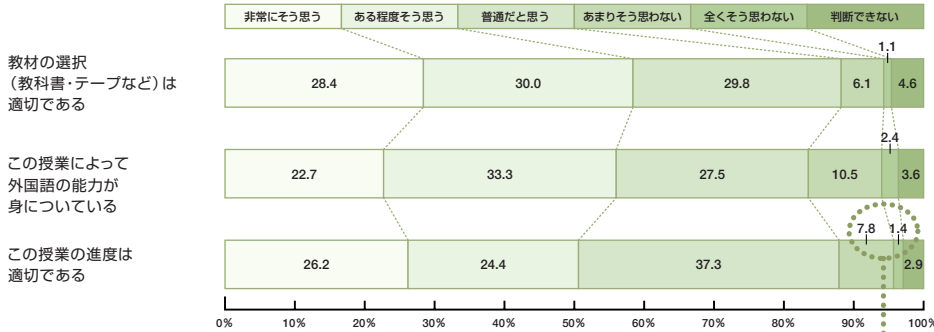
講義に関しては、「シラバスに即して授業が行われている」の肯定派が47.4%と5割弱が評価。

「板書の見やすさ」に関しては、肯定派が35.7%で、否定派(23.1%)を約10ポイント上回り、評価している学生が比較的多くなっている。

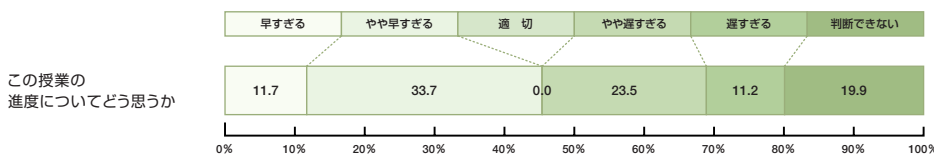
また、「授業を理解する上で、教科書や参考書は役立つ」は、「判断できない」(25.9%)も多くなっているものの、肯定派(35.9%)が上回り、役立ち度も肯定的に評価されている。

## 外国語科目について

※外国語科目サンプル数…2133



### 「あまりそう思わない」「全くそう思わない」に回答した人

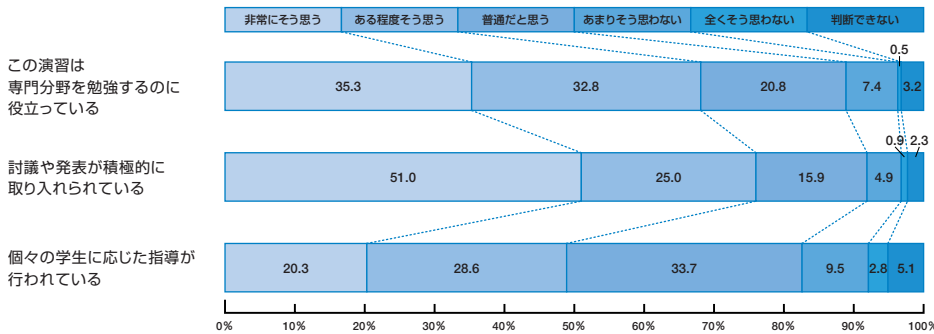


外国語の授業に関しては、「教材の選択は適切である」(肯定派58.4%)、「この授業によって外国語の能力が身につけている」(同56.0%)、「この授業の進度は適切である」(同50.6%)と、各項目の評価は5割以上となっている。一方、否定派は各項目とも1割前後となっており、外国語の授業については一定の評価がなされていると言える。

また、「この授業の進度は適切である」に対し、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答した人に、授業進度について尋ねたところ、早すぎると感じる人(「早すぎる」+「やや早すぎる」)は4割強、遅すぎると感じる人(「やや遅すぎる」+「遅すぎる」)は3割強で、進度が早すぎることへの不満を抱いている学生が、やや多い傾向にある。

## 演習科目について

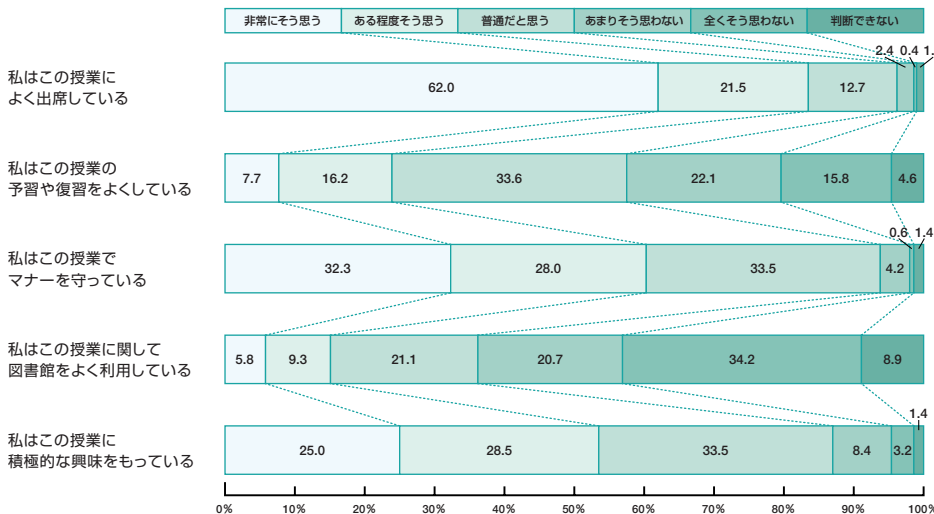
※演習科目サンプル数…433



演習に関しては、「この演習は専門分野を勉強するのに役立っている」の肯定派が68.1%と7割弱が評価。

「討議や発表が積極的に取り入れられている」に関しては、7割以上(75.9%)が肯定派で、そのうち「非常にそう思う」の割合は過半数(51.0%)と、高い評価を得ている。また、「個々の学生に応じた指導が行われている」は、「普通だと思う」(33.7%)が最も多くの割合を占めているものの、肯定派(48.9%)が否定派(12.3%)を上回っている。

## 学生の自己評価について



学生の自己評価が高い項目は、「この授業によく出席している」「この授業でマナーを守っている」「この授業に積極的な興味を持っている」の順。特に出席に関しては、8割以上が評価している。

一方、自己評価が低い項目は、「予習や復習をよくしている」(肯定派23.9%、否定派37.9%)、「この授業に関して図書館をよく利用している」(肯定派15.1%、否定派54.9%)で、否定派が肯定派を大きく上回る結果となった。

これらの結果から、授業に興味を持ち出席率は高いものの、図書館でさらに知識を深めたり、予習・復習をするなどといった自主性はやや低く、学習に対して受動的な傾向がうかがえる。

読者の声  
大募集!

「獨協大学ニュースへの意見、感想のほか、「こんな特集をしてほしい」などの要望、クラブサークルの試合イベント情報、「じっくりくぐり」で取り上げてほしいスポーツなどを総合企画部までお寄せください。大学ニュースホームページからも投稿できます。同窓生は卒業年・学科・保証人の方は学生の学科と統稱、その他の方は簡単なプロフィールを明記のうえお送りください。原則的に匿名不可。掲載分にはオリジナルグッズをプレゼントします。」

総合企画部

今年夏の思い出  
 フランスに短期留学中、ベルギーに小旅行をしに夜行列車で行ったところ、起きたらオランダに着いてとてもびっくりしました。その後オランダの駅で凍えながらベルギー行き始発電車を待ちました。  
 植田晃子(仏3年)

# 「授業改善のためのアンケート」についてのアンケート結果報告

「授業改善のためのアンケート」実施は6回を数えましたが、一部の学生から「アンケートについて先生方はどのように受けとめているのか」といった意見も寄せられています。そこで、「アンケート実施」についてのアンケートを学生、教員の双方を対象に実施しました。その結果の概要を報告します。なお、紙幅の都合上、自由記述欄の意見は一部のみを掲載しました。また、文意を変えない範囲で要約してあります。

**回収方法** 〈学生〉2002年6月末～7月、本誌学生記者が学内で120人に配布し、回収。  
 〈教員〉7月末「授業改善のためのアンケート」の集計結果とともに該当する教員182人に郵送、郵送にて回収。  
 ＊いずれも記名、無記名は自由

**回収サンプル数** 〈学生〉46、〈教員〉46

## 学生の声

1. あなたは、学生による「授業改善のためのアンケート」に、これまでに一度でも回答したことがありますか？

- Yes 43人⇒なぜ？ ①成果を期待して ……17  
 (複数回答あり) ②学生の意思表示ができるから ……6  
 ③全体的な流れでなんとなく ……15  
 ④学生の義務だと思った ……5  
 ⑤先生から何らかの圧力を感じた ……0  
 ⑥その他 ……4  
 (先生に文句を言いたいときがあったから、先生から渡されたからなんとなく等)  
 No 2人⇒なぜ？ ①新生で該当する授業等がまだない ……2  
 (②無駄だと思った、③自分に不利益があると思った、④自分の主義で答えたくない、⑤先生から何らかの圧力を感じた、は回答ゼロ)

(これ以降は1.でYesと答えた人のみ回答)

2. 評価にあたっての基準はどこに置いていますか？(各項目について回答)

- ①科目への興味、期待に込められているか ……Yes 40 No 3 無回答 2  
 ②教員への個人的好き嫌い ……Yes 16 No 25 無回答 4  
 ③成績(または単位)が取りやすいかどうか ……Yes 9 No 30 無回答 5  
 ④その他、評価する場合の独自の基準がある  
 ⇒どんな？ ・先生がつまらなさそうに授業をしていたら、全体的な評価を下げる  
 ・授業がわかりやすく、自分のためになっているかどうか  
 ・時間の使い方の上手下手

3. アンケートの継続について

- ①そのまま続けるべき ……21  
 ②改良して続けるべき ……21  
 ③やめるべき ……2

4. 現在行っているアンケートについて(自由記述)

- ・授業ごとにアンケート結果が見られるようにしてほしい。
- ・アンケート実施時期が遅い。学期末(年度末)に行われるので、自分たちが受ける授業には反映されない。
- ・マークシートの部分より、むしろ自由記述に重点をおくべきだと思う。アンケートが授業改善目的で使用されているなら、具体的な意見を聞いたほうが改善しやすいだろうから。
- ・匿名になっているが、学部・学年を記入する箇所があるので、授業によっては誰が書いたのかすぐにわかってしまうのが難点。また、先生を解雇できるぐらいのことをしてほしいかも。
- ・先生方は本当に読んでいるのか？
- ・教員の給与に反映すべき。満足度が低い場合は減額する。
- ・とにかく、授業は先生の自己満足ではなく、学生のためのものになってほしい。
- ・改善の実績、効果がないように感じる。
- ・教員の不利になることを書いたら、こっそり筆跡を照合されて成績を悪くされそうで怖い。
- ・アンケートの評価に対して逆ギレするのは、どうかと思う。
- ・学生の声を参考にされている先生もいれば、お構いなしの先生もいる。もっと真剣に受けとめてほしい。
- ・よりよい大学になるよう、アンケートなど様々なことをしてほしい。

## 教員の声

### 質問項目

- ①先生は「授業改善のためのアンケート」をどのように活用していますか？  
 ②このようなアンケートを実施していることについて、どう思いますか？  
 ③先生は受け取った集計結果に対して満足していますか？  
 ④このアンケートにおいて、改善すべき点がありますか？それはどんな点ですか？  
 ⑤このアンケートは今後も続けたほうが良いと思いますか？

\*以下順不同。( )内は所属学科を表す。「非」は非常勤講師。

①マイナス評価の改善に努力②学生に評価の機会を与え、自らの授業の反省になるので意義がある③満足というのは難しい④質問項目の見直し⑤大学の制度として今後も重視すべき(法・小柳春一郎)

①自己の授業の改善に活用②④質問項目を改善し役に立つものにすべき③参考になっている⑤続けるべき(営・大久保貞義)

①建設的意見は参考にするが、誹謗中傷も見られるようだ②④もっと客観的なアンケートにすべき③不満足。学生の意見や希望がバラバラで一貫性がない⑤アンケートの改善がなければ無意味(英・鍋倉健悦)

①学生にフィードバックすることに意義があるのに、それができず残念②費用・時間をかけているわりに実が少なく③授業のねらいは達成できた④⑤このままでは意味がない。全面公表すべき(英・原成吉)

①次期の授業の参考にしている②有意義③次の授業の活力となり大変満足④なし⑤続けるべき(非・鹿織文)

①今回は実施が遅すぎ結果を学生にフィードバックできず②無駄なような気がする③質問項目の再検討をすべき④設問のレベルが低すぎる⑤無駄だと思う(営・富田幸弘)

①毎時間独自に行っているので活用していない②実施の事実だけで質的には無意味③質問意味が不明④毎時間実施するのであれば次週の授業に役立つ⑤記名式にして毎時間実施するなら(言・松原裕)

①次年度の授業計画の参考に②有意義だと思うが過大な期待は持つべきではない③学生の評価はほぼ妥当④この程度のアンケートを多額の費用をかけて外部委託することには疑問⑤継続すべき(独・本多喜三郎)

①近い将来の授業の改善に役立てる②大変よいが実施時期を再検討すべき③ほぼ満足④欠席の多い学生のアンケート参加に一定の制限を。集計結果は見やすいグラフ表示に⑤続けるべき(非・高松朋子)

①授業での自分の意識と学生の意識のずれを感じる。修正すべきところは直す②授業中に学生から反応が得られるような授業運営ができていれば不要③今回は満足④意欲のある学生に評価されたい⑤教員が授業に積極的に取り組んでいけば必要はない(営・和田智)

①教材選択、授業中に出にくい不満の吸い上げ、学生と自己の評価のずれの確認に利用②何らかの形で学生が意見を言える場を設けることは必要③質問項目の設定は自分でやりたい④この種のアンケートは学生と教員の信頼をもとに個人的に行うべき⑤現状のままでは反対(非・落合佐枝)

①授業改善に利用②毎年実施を③全体としては満足だが、授業に出席しない学生のスコアも算入されるのが納得できない④教員による回収はやめるべき(教務課で回収を)⑤続けるべき(匿名)

①納得のいくものは採り入れる②毎年やる必要はない③まあまあこんなものと思う④点数制ではなく、自由記述のみでよい⑤3年に1度でよい(匿名)

①次期、次年度の参考に。一方で、普段の授業でいくらかでも改善・要望点は言えるはずなのに、どうして学生からそれが出ないのか疑問②現行のアンケートが本当にその目的を達しているのか、専門家を含めた第三者(機関)の評価を仰ぐべき③多様な受講生を相手にしているので、正反対の評価が出るのも自然④設問項目、設問順序などを再検討すべき。また点数化では不十分なものは、良かった点と改善点に絞って具体的に聞くべき⑤形式等を改善して継続を(匿名)

## 教務部長・古川堅治教授のコメント

本学の「学生による授業改善のためのアンケート」は、授業空間を作り出している受講生と教員とが一体となって授業の改善と質的向上を図ることを目的としています。これまでの実施成果から、両者の授業に対する意識が非常に積極的になり、改善と向上の視点が明確になってきたのは紛れもない事実です。これからもそのような取り組みを真摯に続けることにより、本学全体の教育の質の向上のため一丸となって努力されることを願っています。

なお、これまで受講生や教員からの具体的なアンケートについての声を公表する場がありませんでしたが、今回「獨協大学ニュース」学生スタッフの協力により誌上に反映させることができました。この場を借りて、その労に感謝の意を表します。今回寄せられた意見も踏まえ、アンケートの実施方法・内容の見直し、またファカルティ・ディベロップメントの推進を検討していきたいと思ひます。